

地域の動き

シリーズ⑨

菊池地域

恵まれた自然を生かしながら躍進する

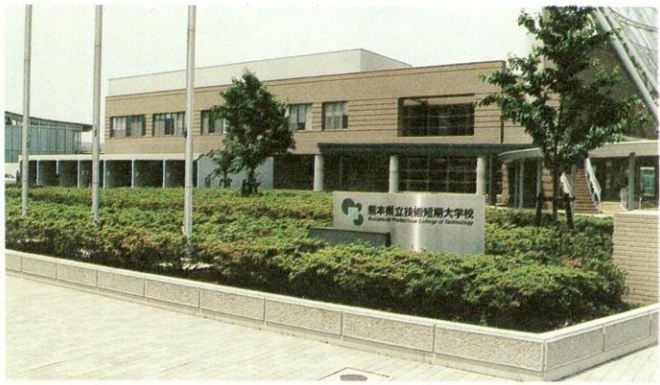


菊池地域は大部分が菊池平野な...

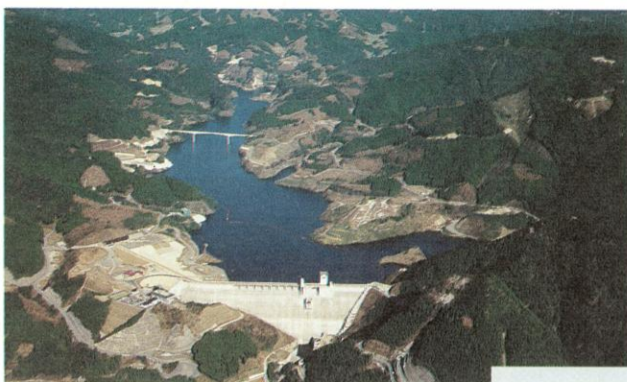
野菜・米・花きなどの農業が盛んな一方、ハイテクなどの工業生産...

心豊かな生活の場をつくるために

当地域では、快適な生活環境の形成のため、公共上下水道や農業...



県立技術短期大学校



竜門ダム



いこいの里 龍龍館

シオン施設(漕艇場等)の整備が進められています。

今年の四月には、地元特産品の販売やレストラン、研修室等を備えた「いこいの里 龍龍館」もオープンしました。

生活を支える力強い産業をつくるために

第二テクノパーク(合志町・菊陽町)の整備により地域企業の高...

また、地域の特性に応じた多様な農林業の展開を行っています。

また、教育の場として、県立農業大学校(合志町)や平成九年四月に開校した県立技術短期大学校(菊陽町)があり、後継者育成や実践技術者の育成を図っています。

平成十一年開催の第五十四回国民体育大会では、当地域全市町村で公式競技又はスポーツ行事が行われます。国体関連の施設の整備も進み、スポーツ振興が図られています。

活力にあふれる地域をつくるために

菊池市の竜門ダム湖(斑蛇口湖)周辺におけるスポーツ・レクリエー...

くまもと物語

県内に数多く残る城跡。先人に思いを馳せ、歴史ロマンを満喫。

いくさの拠点として、地域の象徴として威容を誇った城。県内には四百力以上の城跡があるとされています。

今回のくまもと物語は、人々の心のよりどころとして親しまれている城、永い年月の間に忘れ去られていた城など、城にスポットをあてています。



鞠智城 米倉(6ページに関連記事があります)

城の起源は大和朝廷時代

七世紀後半、東アジア大陸の緊張が高まるなか、大和朝廷は、国の守りのために対馬や北部九州に防衛拠点を築きました。このとき造られた城の一つが菊池町、菊池市にまたがる鞠智城です。

これまで十九次を数える発掘調査で徐々に城跡の全容が明らかになりつつあります。

我が国の古代山城では初めての八角形建物跡や貯水池跡、貯木場跡、木簡の発見が相次ぐなど学界でも注目を集めています。

県では米倉や防人の兵舎を復元するなど歴史公園化を進めています。

中世以降、豪族らが次々と築城

十四世紀以降になると、各地に勢力を振るった豪族たちが地形を利用して空堀や土塁、郭(くるわ)などを山の上に築きいくさの前線基地としました。これが、「中世城」と呼ばれるものです。県内でも数多く造られ、隈部館(菊池町)、宇土古城(宇土市)、久玉城(深南市)、田中城(三加和町)などが代表的なものです。

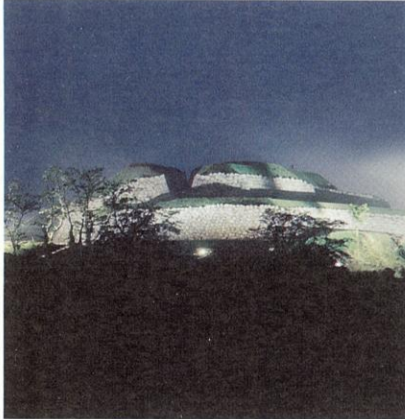
そして、信長、秀吉の時代以降、統治のシンボルとしての熊本城、宇土城、八代城、人吉城、富岡城といった「近世城」が造られるようになったのです。

みんなの理解と協力で、歴史資産を後世に

ところで、中世城などの城跡は、外見からは単なる山か丘陵としか見えないことなどから開発の波にさらされた時期がありました。そこで、県では県内の城跡の調査や、保存の目安を進めてきました。中には、佐敷城(芦北町)のように、石垣や文字が刻まれた鬼瓦が出土し、評価が高まった例もあります。

近年では、地域おこしの起爆剤として城を復元したり、城跡を公園化するなどの取り組みが見られます。

文化財や歴史的資産を後の世に残していくには、私たちがもつと地域の歴史や文化を身近に感じることが大切です。時には、先人たちに思いを馳せ、郷土の歴史ロマンに浸ってみてはいかがでしょうか。



調査・整備が進む佐敷城

県広聴制度のご案内

知事への直行使 県の出先機関、市町村、公立病院、郵便局、銀行などに専用の封筒と便せんを置いて、県民誰もが自由に県政に対する提案、意見を提出していただけるようにしています。

県政モニター 県民の中から二百名の方にモニターになっていただき、継続的に県政に対する意見ご提案をお伺いしています。

県民相談 県政に関するさまざまな相談をお受けしています。電話による相談も受け付けています。

県広報のご案内

「彩り」(熊本県の豊かさを伝えます。A4判28ページ) 年四回(四月、七月、十月、一月)発行 愛読者募集中です。送料として千八百円(分四回)の郵便切手を同封のうえ、左記宛て先へお申し込みください。

テレビ RKK「月刊くまもと情報」(毎月一回再放送あり) TKU「くまもと探検隊」(毎週土曜日 二時五十分～三時) KKT「アプローズアップ熊本」(年間一本三十分) KAB「くまもとライクリ」(毎週月曜日 一九時五十分～二〇時)

ラジオ RKK「ふれあいくまもと」(毎週月曜日、土曜日 一〇時三十分～一〇時三十分) FMK「県庁ダイアリー」(毎週月曜日、金曜日 七時三十分～七時三十分) CITY FUM「県庁ダイアリー」(毎週月曜日、金曜日 七時三十分～七時三十分) CASUAL WALKING (毎週土曜日 二時五十分～三時)

読者の方々のご意見をお待ちしています。あて先 〒862-8570 熊本県広報課「県からのたより」係 ※県庁の住所は不要です。

096-385-2096 FAX 096-386-2040



10 総 広 ③ 002



15分ミニ特番の「月刊くまもと情報」。写真は「サラダタマネギ」の収穫の様子